

登録コード	T5004200	開講年度	2026	市民開放授業			
授業科目	日本建築史(16T以降)					担当教員	梅干野 成央
英文授業名	Japanese Architectural History					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	建築学科2年生
講義室	工C3-103教室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				日本建築の歴史を体系的に理解できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	日本建築の歴史を、神社建築、寺院建築、住まいに即して学ぶ。その際、造りと間取り、素材といった建築のかたちに着目し、日本建築の形成過程や特徴、地域社会（都市・農山村など）との関係性について、理解を深める。						
(5)授業計画	第1回（04/15）日本建築史とはなにか 第2回（04/22）日本建築の特質：造り・間取り・素材 第3回（04/30）日本建築の歴史：概略 第4回（05/13）神社建築の歴史（1）：古代・中世 第5回（05/20）神社建築の歴史（2）：中世・近世 第6回（05/27）神社建築の歴史（3）：霊廟と祭礼 第7回（06/03）寺院建築の歴史（1）：古代・中世 第8回（06/10）寺院建築の歴史（2）：中世・近世 第9回（06/17）寺院建築の歴史（3）：善光寺とその門前町 第10回（06/24）住まいの歴史 第11回（07/01）農家：農山村の住まい 第12回（07/08）町家：都市の住まい 第13回（07/15）日本建築の近代化：西洋文化の摂取（1）職人たちの近代 第14回（07/22）日本建築の近代化：西洋文化の摂取（2）日本人建築家の登場 第15回（07/29）歴史的建造物の見方・調べ方／まとめ、授業アンケート 第16回 期末試験						
(6)成績評価の方法	科目の基本的内容【授業の達成目標】を理解したと認められる者（毎回の小テスト（30点）と期末試験（70点）の合計が60点以上の成績）について単位を認定する。						
(7)成績評価の基準	（1）日本建築の歴史に関する基礎的知識を理解していれば「水準にある」。（2）この基礎的知識をかたちにもとづいて理解していれば「やや上にある」。（3）かたちの変化にもとづいて、日本建築の形成過程を理解していれば「かなり上にある」。（4）以上をふまえ、日本建築の歴史を体系的に理解していれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	前週の授業内容の理解を問う小テストを授業冒頭に行う。前週のレジュメやノートを使って、毎回復習してから授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	公開されている歴史的建造物を積極的に見学すること。見学の際には、スケッチや写真を取り、歴史的建造物の特徴などを現場で学ぶこと。						
(10)質問,相談への対応	質問・相談にはいつでも応じる。メールでも可（hoyano@shinshu-u.ac.jp）。						
(11)その他							
【教科書】	日本建築学会編『日本建築史図集 新訂第三版』彰国社、2007年						
【参考書】	指定しない。						